

1 学校の概要			
学 校 名	美祢市立桃木小学校	校 長 名	來嶋 純子
児童生徒数	7名	学 級 数	3 学級

2 教育目標	
(1) 教育目標	「ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」
(2) 重点目標	① 基礎学力の定着と確かな学力の育成 ② 健やかな生活習慣の育成 ③ 個性や創造性の伸長と豊かな心の育成
(3) チャレンジ目標	○お気に入りの本をふやそう ○みんなと楽しく元気に遊ぼう ○元気なあいさつで心を伝えよう

3 重点目標達成についての総括的評価	
①	全教職員が「教えて考えさせて定着させる」授業を目指して取り組んだが児童・教職員の肯定率は今ひとつであった。わかる喜びが実感できる授業改善をさらに進める。
②	一人一人の体力向上や早寝早起きの生活習慣の定着と防災意識を高める指導をさらに充実させる。
③	元気なあいさつで一日が始まり、心豊かな児童が育っている。学校・家庭・地域の連携した取り組みの成果である。さらに、体験活動の内容を工夫し充実を図っていく。

4 来年度の学校課題	
①	児童数5名2・3年と4・6年の変則複式の指導体制でどのように学力向上を図っていくかが課題である。3・4・6年生は一人学年であるので、一人学びに達成感やできる喜びを大切にしたい指導が必要である。
②	引き続き児童の体力づくりの継続や外遊びの奨励、安心安全についての指導をしていく必要がある。少人数でゲーム運動が経験不足になるところは交流学习の充実をし、一人でできる体力作りを中心にめあてを持たせて取り組ませることが必要になってくる。引き続き、望ましい食生活を送ることができるよう食育を推進し、児童や保護者の意識を高めていきたい。
③	少人数の中で人間関係形成能力を育成することが課題となる。交流学习や体験活動や地域の皆さんとのふれあいを意図的に取り入れ、人との関わりを多くする環境づくりに取り組むことが重要である。

5 学校課題に向けての具体的な取組	
①	日々の授業での学力向上の取組とともに、校内研修や支援訪問での研究授業をもとに授業改善に取り組む。児童・保護者の授業評価を活用したり、「山口学習支援プログラム」「やまぐちっ子学習プリント」を活用したりして学力向上に取り組む。
②	全校体育の授業内容の工夫改善と共に、1学期は一輪車、2学期は持久走、3学期はなわとびを一人ひとりのめあてをもたせて行う。引き続き、「いきいき生活チェックカード」等を活用して、生活時間や食生活の振り返りを月ごとのめあてを決めて行う。また、緊急時の応急対策計画を入れた防災計画を共通理解して取り組む。
③	児童活動・委員会活動、縦割り班活動・遊びなどの全校活動、全校音楽・全校体育や交流学习の内容を工夫したり、放課後子ども教室と連携して地域との関わりを意図的に仕組み、豊かな体験活動を推進する。さらに様々な体験が豊かな心の醸成に資するように取り組む。